

ClassNK PSC Bulletin

Date:	26 February 2016
No:	NK-PSC-06
Attachment	No /Yes: - page(s)

Title:

固定式炭酸ガス消火装置

Typical deficiency (outline of comment) by PSC:

固定式炭酸ガス消火装置の点検後、一部 Pilot line が外されたままとなっていたために、'非常時の起動準備不備'として PSC に指摘を受ける。

Port State

Country: Korea, Australia 他

Port: GwangYang (Korea) 他

Action taken by PSC:

Detention / Rectify before Departure / Others ()

Description:

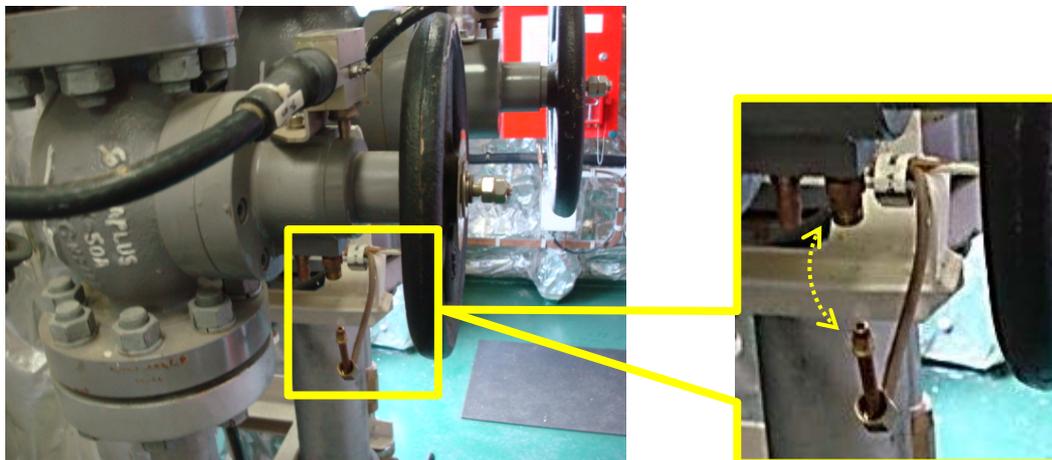
固定式炭酸ガス消火装置の整備業者による点検の際、炭酸ガスの誤放出等を防ぐため、Pilot line の接続を一部外して点検される場合があります。

しかしながら点検後、数箇所の復旧忘れが存在(一部 Pilot line が外された状態等)したまま PSC 検査を受け、その結果、特に最近の韓国、オーストラリア PSC 検査において、非常時に同消火装置が起動出来ない状態であるとされ、拘留を伴う欠陥として指摘される事例が報告されております。

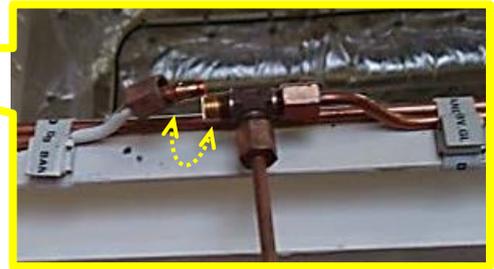
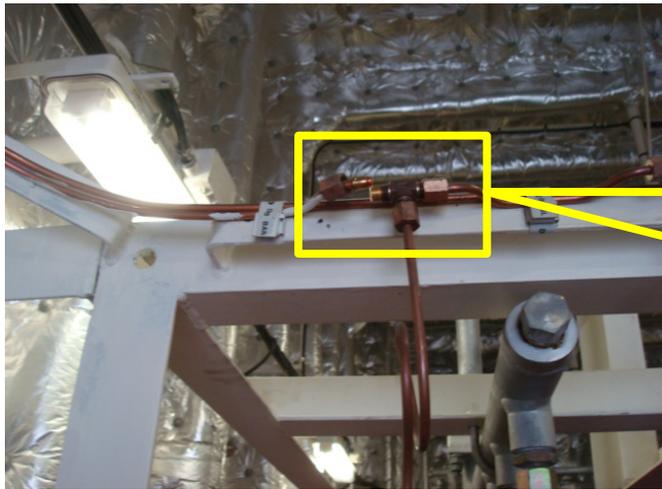
整備業者によるレポートには、「Ensure that pilot lines had been reconnected to all cylinders...」と、全箇所復旧済である事が明記されている場合もございますが、そのような場合でも数箇所の復旧忘れが存在していたために、PSC に指摘された事例もあります。

<必要な対応>

整備業者点検後には、本船乗組員においても Pilot line 接続の総点検を確実に実施していただくようお願い致します。



(1) CO2 discharge valve 操作 Pilot line の復旧忘れの例



(2) CO2 シリンダー操作 Pilot line の復旧忘れの例

以上